

公益社団法人日本マレーシア協会

2018年度事業報告



マレーシア・サラワク大学「タカサゴの森」植樹セレモニー(2018年10月)

2019年4月

1. 親善交流活動

● サラワク州での各種交流



クチン日本人墓地を清掃(親善使節団8月)



サラワク州副主席大臣を表敬(10月)

● 国内での各種交流



マレーシア教育大臣を迎えての出版記念会を紀伊國屋本店で開催(11月)



ケネディ新大使を表敬訪問(2月)



日マ弁護士会の交流をサポート(2月)

●日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンス) (2018年度国立研究開発法人科学技術振興機構委託事業)

国立研究開発法人科学技術振興機構より受託し、「生命科学を学ぶ」をテーマに、マレーシアの大学生を対象とした日本国内研修プログラムを実施した。

期 間 2018年11月11日(日)～20日(火)

場 所 科学技術系大学・博物館・研究所・企業・プロジェクト地等

招聘者 マレーシア・サラワク大学の学生10名と教員1名

日 程 11月11日(日)午前クチン発、夜関空着
11月12日(月)オリエンテーション、JESCO/PCB大阪処理センター視察
11月13日(火)京都大学大学院人間・環境学研究科
11月14日(水)大阪市立大学大学院文化研究科
11月15日(木)高知大学農林海洋科学部
11月16日(金)高知大学農林海洋科学部、イーレックスニューエナジー社見学
11月17日(土)宇都宮大学農学研究科
11月18日(日)日本科学未来館見学、講義(講師:成蹊大学加藤茂教授)
11月19日(月)高砂熱学工業株式会社訪問、研修報告および送別会、夜羽田発
11月20日(火)午前クチン着



宇都宮大学(左)、京都大学(右)で研修



JESCO/PCB大阪処理センター訪問(左)、高砂熱学工業(右)で研修

2. 熱帯雨林再生活動

サラワク州スリアン地区のバライリンギン保護林、アペン国立公園、サバル国立公園、ルンドゥ地区のサンパディ保護林、ミリ地区のバカム保護林にて 植林とメンテナンス作業を実施。

サラワク州クチン湿地国立公園、ケダ州ムルボック湿地保護林でマングローブ植林を実施。

植林活動地が国立公園(完全保護区)へ

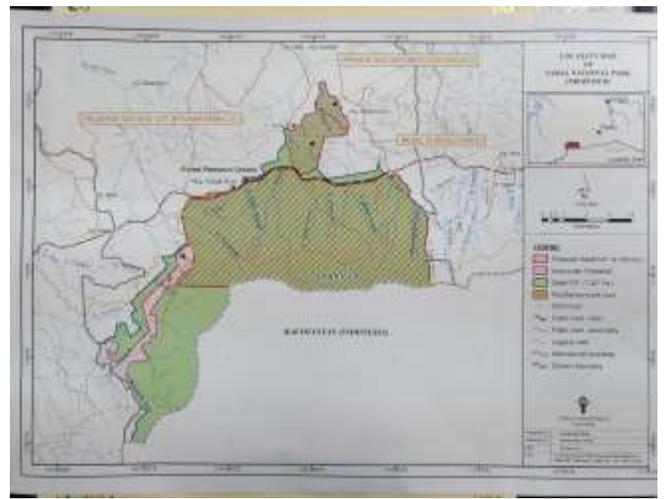
サラワク州森林局では、本協会が長期間にわたり熱帯雨林再生活動を実施している保護林地域を、国立公園(完全保護区)へ格上げする方針を定め、法的手続きを実施。

一昨年末に「アペン保護林」が「アペン国立公園」へと昇格することが決定したのに続き、当年度、サバル保護林の国立公園化が決定し、正式に登録された。

民間協力による植林地が「国立公園(完全保護区)」へ昇格することは、画期的なことであり、関係各位のご支援へ心より感謝申し上げますと共に、森の再生には長い時間を要するため、今後とも、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



サバル国立公園 伐採跡地の二次林



サバル国立公園区画(4709ha)

●企業ご協賛による植林活動



(株)木下グループ「木下の森」青少年研修プログラム
アペン国立公園で日マの青少年が環境保全を通じた研修プログラムに参加



三菱商事(株)熱帯雨林再生プロジェクト
社員の方が植林活動地を視察(9月、10月)



JACリクルートメントグループ
各国法人が募金、毎年植樹に参加

ダンロップホームプロダクツの森
年間2400本を地域の人々が植林



高砂熱学工業(株)「タカサゴの森熱帯雨林再生プログラム
マレーシア・サラワク大学構内で植樹行事(10月)

●助成金による活動

マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林再生事業 (国土緑化推進機構 緑の募金 国際緑化助成)



サラワク州クチン湿地国立公園内森林劣化地域で、地域の人々が育苗と植林作業に参加

マレーシア・サラワク州における多様化森林造成のための地域住民主体の育苗事業 (トヨタ環境活動助成プログラム)



アペン地区の村で女性グループが果樹などの苗木を育成 専門家が育苗指導を行う

マレーシア・ケダ州ムルボック湿地保護林における地域社会との協働による マングローブ林保全活動(経団連自然保護基金助成)



地域の子供達も参加し、植林活動を実施

●環境国際交流活動



日本の大学生が植林地域の
小学校で交流(8月)



日本の大学生が
現地の小中高生と植林で交流(8月)



セメング野生生物保護センターにて
オランウータン保護活動へ寄付(11月)



日本の大学生が植林地域の村で
ホームステイ(8月)



多摩動物公園に募金箱設置



60周年記念植林ご協賛社の看板
2020年度まで定期的に報告

3. 情報収集・機関誌刊行活動

●会報マレーシア

2019年1月発行号で通巻554号

●ホームページ

www.jma-wawasan.com (日・英語)

●マレーシアの書籍の邦訳書発行・配布

マレーシアにおける憲法とシャリーアの関係について事例をもとに解説する書籍『マレーシアとシャリーア 憲法とイスラム法の現代的課題』をマレーシア翻訳書籍研究所と協働し、翻訳・出版。会員各位と全国主要図書館等へ贈呈した。

4. 講演会・講習会開催活動

●創立60年記念セミナー&懇親会を開催(10月)



外務省南東アジア第二課 宮本課長と、森嶋名誉教授が基調講演



大学生が研修報告

●マレー語スピーチコンテスト(12月)



5. 海外派遣研修等

● インターンシップ

1. 日本の大学生による本協会事務所におけるインターンシップ
 - ・参加学生 日本大学国際関係学部3年生2名
 - ・期間 2018年8月27日～9月7日
 - ・内容 日常事務作業、外勤体験、報告書作成体験等
2. マレーシアの大学生による日本のホテルでのインターンシップへ協力
 - ・参加学生 マレーシア国際イスラム大学観光学科の学生8名
 - ・期間 2018年12月～2019年3月
 - ・場所 ルスツ・リゾート(北海道虻田郡)



日本の大学生を対象としたインターンシップ・プログラム
学生を指導する森嶋名誉教授(左)、マレーシア投資開発庁東京事務所を訪問(右)



インターンシップ修了証を
学生に授与(9月)



マレーシア国際イスラム大学の学生が
北海道で研修(12月～3月)